



「2010年合意が実るように」

近藤高梁市長がNPT議長へメッセージ

4月15日、自治労連本部、県本部、高梁市職労と高梁原水協、岡山県原水協は近藤隆則高梁市長と面談し、NPT再検討会議第2回準備委員会のコーネル・フェルタ議長へのメッセージを受け取りました。

これは4月22日からジュネーブで始まるNPT再検討会議第2回準備委員会に日本原水協の要請行動代表団の一人として自治労連本部青年部長の岡崎加奈子さん（高梁市職労出身）が参加することで、自治労連、県原水協が高梁市職労・地域原水協と一緒に市長に働きかけていたものが実現したものです。

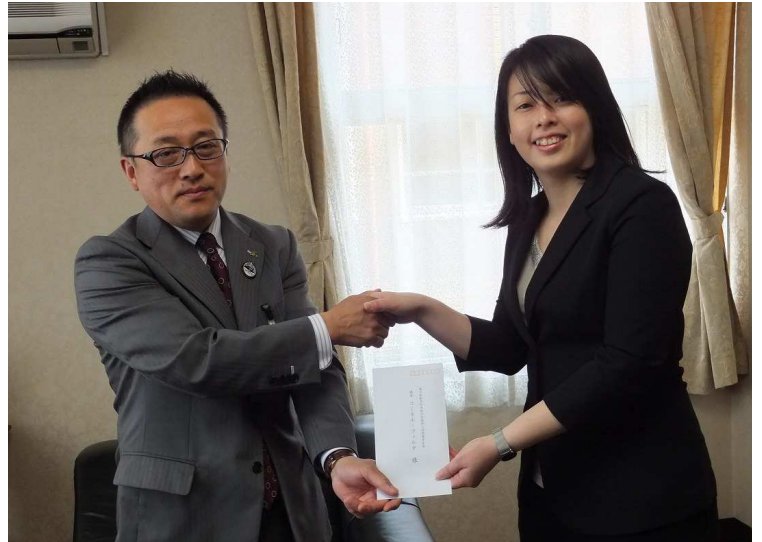
議長にしっかり届けます。

岡崎さん市長とがっちり握手

近藤市長は「こうした運動は継続していかなければなりません。そうして本気で言い続けることが大事です」と述べ「(北朝鮮情勢に関して)時計を逆戻ししてはいけません。核兵器が使われたら人類は終わりだ」と、岡崎さんを励ました。

これを受け岡崎さんは「市長の平和の思いをしっかりとNPT準備委員会議長に届けてきます」と決意を述べました。

この日の要請行動には自治労連松重中執、花田県本委員長、田中書記長、高梁市職労前原副委員長、高梁原水協協理理事長、県原水協平井事務局長が参加しました。右上・近藤市長と岡崎さん 右下・市長と懇談(4/15 高梁市役所)



高梁商工会議所へ署名の協力を要請



この日、市長要請行動の一行は高梁商工会議所へ「核兵器全面禁止のアピール署名」の協力要請をおこないました。高梁原水協泉浩爾理事長名の協力要請書をたずさえ商工会議所を訪問、懇談しました。笹田恒博専務理事が対応してくださいました。笹田専務は個人的見解と断りながら「核兵器のない世界にしていかななくてはならない。(朝鮮情勢に関わり)(核を)持っている人が持つな」といっても説得力はない。皆さんの日頃のエネルギーには感心する」と述べられ、商工会にはいろいろな考えの人たちがおり、個人的にはその通りだと思うが「会」として取り組むことにはならないと言われました。
写真左 高梁商工会議所への申し入れ(4/15 高梁市)